



これから暖かな季節に突入します。嬉しい反面、ノミが増え始める春。本格的なシーズンに入る前に予防をして、万全の態勢でノミを迎え撃ちましょう！



大量のノミに血液を吸われると、貧血を起こしたり、体調を崩したりすることがあるよ。



ワンちゃんネコちゃんに寄生するノミで一番多い種類は「ネコノミ」と呼ばれる種類。僕たち犬にも「猫ノミ」は寄生するよ。



ノミに血を吸われると、体内にアレルゲンが入り込み、ノミアレルギー性皮膚炎を発症することもあるんだよ。

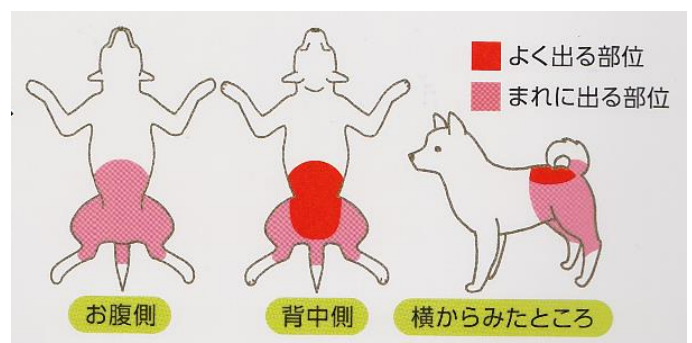
ノミアレルギー性皮膚炎って何？

- ・ノミの唾液に反応して、過剰なアレルギー反応により皮膚炎が起こります。
- ・わずかなノミしかいなくても数に関係なく発症します。
- ・ノミの多さと症状の強さも関係なく、少しの寄生数でも強く痒がる場合があります。
- ・ノミの数が増える夏から秋にかけて症状が出やすくなりますが、暖房を頻繁に使用してノミが生き残っている家庭では冬でもみられます。



どんな症状が出るの？

- ・触るとザラザラとした感触の細かいブツブツした皮膚炎が、腰や背中にみられ、強い痒みを伴います。
- ・ネコちゃんでは顔や首周りにも引っ掻き傷のような症状がみられることがあります。
- ・ノミの糞が毛の根元に付着していることがあります。



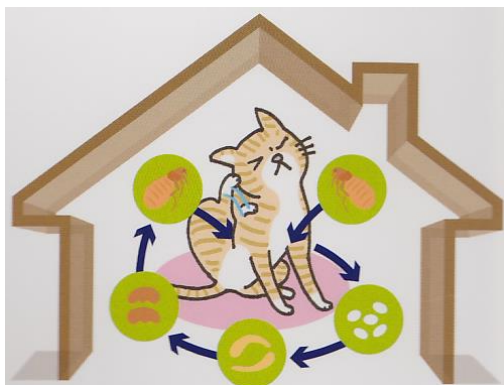
ヌイグルミなどが積み重ねられた状態は、湿気が逃げずノミにとって居心地がよい場所。

壁とタンスや本棚の間は湿度・暗さ・ホコリの三拍子がそろっています。上に登った猫ちゃんから落ちたノミが、棚の裏に入って繁殖します。

雨や結露により、水滴が落ちたサッシの間には、たくさんのノミの卵や幼虫がいます。



ワンちゃんネコちゃんがくつろぐソファーやカーペット、ラグなどはノミにとって動物に寄生しやすい絶好の場所です。



部屋には成虫だけでなく、卵やさなぎが紛れています。ノミは部屋の中で産卵、成長して再びワンちゃんネコちゃんに寄生します。暖かな環境が整った室内では、季節に関係なく通年の生息が可能です。



今後の予防のためにも、定期的な予防とこまめなお掃除を心掛けましょう。



治療方法

- ・ノミアレルギー性皮膚炎は炎症や痒みがある場合にはステロイドを飲ませる場合もあります。また、細菌の感染が同時に起こる場合もあり、そのようなときは抗生剤も併せて処方されます。
- ・ワンちゃんネコちゃんに寄生しているノミに対しては駆虫薬を使用して、ノミを駆除します。同時に生活する環境の清掃をしっかりと行いましょう。



背中に垂らすだけ！効果も安全性も高いお薬がありますよ♪

